

ニュース

## 科学技術庁長官賞（研究功績者表彰）を館山 勝会員が受賞

鉄道総合技術研究所 村田 修

私ども鉄道総研の館山勝氏がこのたび科学技術庁長官賞（研究功績者表彰）を受賞しました。この賞は、現に科学技術の研究開発に従事している者であって、その研究活動により、社会・経済に対する貢献の可能性のある、優れた研究成果をあげた者に贈られるもので極めて価値の高い賞です。

賞の対象は、「補強土工法の開発に関する研究」で、壁面に剛性を与えることにより盛土の安定性や施工性が著しく改善されることに着目したもので、ジオテキスタイルを用いて新設する盛土を鉛直に構築する「補強盛土工法」と既設の盛土のり面を棒状の補強材で補強しながら掘削する「盛土のり面急勾配化工法」の研究開発に対してのものです。

館山勝氏は、昭和 53 年に国鉄に入社され、昭和 58 年に構造物設計事務所に配属になって以来、土構造の設計及び技術開発に従事されています。特に、昭和 61 年に委託研究員として、東京大学の龍岡文夫先生のところで指導を仰ぎながら、室内模型実験により、壁面の剛性が補強土の安定性に寄与することを初めて定量的に明らかにしたことが今回の受賞の基礎となっております。その後、昭和 62 年から鉄道総研に配属となり、実物大の試験盛土により室内模型実験で得た成果を確認し、工法の設計法を確立するとともに、実用化に貢献しております。

館山勝氏は皆さんもご存知のように、たいへんな努力家であるとともに、アイデアマンでユニークな発想をするとともに、その実現のための努力をおしみません。

今回の受賞は補強土工法の研究から実用化までの一貫した館山勝氏の努力に与えられたものですが、勿論、研究の方向性や実用化にあたっては龍岡文夫先生をはじめとする多くの方々のご協力があったことだと思えます。今後とも館山勝氏におかれては受賞に対しておごることなく、しかも今まで以上に積極性をもって事にあたってほしいと念じております。



写真 中曽根大臣からの受賞（平成 12 年 4 月 18 日）